



北京大学医学教材

# 口腔组织学与病理学

Oral Histology and Pathology

主编：于世凤 高 岩

北京大学医学出版社

北京大学医学教材

# 口腔组织学与病理学

Oral Histology and Pathology

主编：于世凤 高 岩

## 编写者（以姓氏笔画为序）

于世凤 北京大学口腔医学院

孙开华 北京大学口腔医学院

李翠英 首都医科大学口腔医学院

李铁军 北京大学口腔医学院

高 岩 北京大学口腔医学院

章魁华 北京大学口腔医学院

北京大学医学出版社

# KOUQIANG ZUZHIXUE YU BINGLIXUE

## 图书在版编目 (CIP) 数据

口腔组织学与病理学/于世凤, 高岩主编. —北京: 北京大学医学出版社, 2004. 8  
ISBN 7-81071-608-5

I. 口… II. ①于… ②高… III. 口腔科学: 病理学: 组织学 (生物) —医学院校—教材 IV. R780.2

中国版本图书馆 CIP 数据核字 (2004) 第 062598 号

## 口腔组织学与病理学

主 编: 于世凤 高 岩

出版发行: 北京大学医学出版社 (电话: 010-82802230)

地 址: (100083) 北京市海淀区学院路 38 号 北京大学医学部院内

网 址: <http://www.pumpress.com.cn>

E - mail: [booksale@bjmu.edu.cn](mailto:booksale@bjmu.edu.cn)

印 刷: 莱芜市圣龙印务书刊有限责任公司

经 销: 新华书店

责任编辑: 安 林 责任校对: 周 励 责任印制: 郭桂兰

开 本: 787mm×1092mm 1/16 印张: 29.75 插页: 4 字数: 754 千字

版 次: 2005 年 1 月第 1 版 2005 年 1 月第 1 次印刷 印数: 1—3000 册

书 号: ISBN 7-81071-608-5/R · 608

定 价: 49.80 元

版权所有, 违者必究

(凡属质量问题请与本社发行部联系退换)

# 序

长学制口腔医学专业双语教材编辑委员会邀请我为 15 本 8 年制口腔医学专业的教材写一个总序。我想所以邀请我写总序，也许在参加这 15 本教材的百余名教师中我是年长者，也许在半个世纪口腔医学教学改革和教材建设中，我是身临其境的参与者和实践者。

1952 年我作为学生进入北京大学医学院口腔医学系医预班，1953 年更名为北京医学院口腔医学系，1985 年更名为北京医科大学口腔医学院，2000 年更名为北京大学口腔医学院。历史的轮回律使我已是老教授又回到北京大学，这是高等学府名称的变更。新中国成立后年制改动得频繁，1949 年牙医学系为 6 年，1950 年毕业生为 5 年半，1951 年毕业生为 5 年并招收三年制，1952 年改为 4 年制，1954 年入学的为 4 年制，毕业时延长一年实为 5 年制，1955 年又重新定为 5 年制，1962 年变为 6 年制，1974 年恢复招生又决定 3 年制，1977 年再次改为 5 年制，1980 年又再次定为 6 年制，1988 年首次定为 7 年制，2001 年首次招收 8 年制口腔医学生，以上是年制的变更。

20 世纪 50 年代初期，没有全国统一的教科书，都是用的自编教材。到 50 年代末全国有三本统一的教科书，即口腔内科学、口腔颌面外科学和口腔矫形学；到 70 年代除了上述三本教科书外增设了口腔基础医学的两本全国统一教材，即口腔组织病理学和口腔解剖生理学；80 年代除了上述五本教科书外又增加口腔正畸学（口腔矫形学更名为口腔修复学）、口腔材料学、口腔颌面 X 线诊断学和口腔预防·儿童牙医学。至此口腔医学专业已有全国统一的九本教材；90 年代把口腔内科学教材分为牙体牙髓病学、牙周病学、口腔黏膜病学三本。把口腔预防·儿童牙医学分为口腔预防学和儿童口腔病学，口腔颌面 X 线诊断学更名为口腔颌面医学影像诊断学。同期还增设了口腔临床药物学、口腔生物学和口腔医学实验教程。至此，全国已有 15 本统一编写的教材；到 21 世纪又加了一本胎学，共 16 本教材。从以上学院名称的变更，年制的变换以及教材的改动，说明新中国成立后口腔医学教育在探索中前进，在曲折中前进，在改革中前进，在前进中不断完善。而这次为 8 年制编写 15 本教材是半个世纪口腔医学教育改革中付出巨大辛劳后的丰硕收获。我相信，也许是在希望中相信我们的年制和课程不再有变动，而应该在教学质量上不断下功夫，应该在教材和质量上不断再提高。

书是知识的载体。口腔医学教材是口腔医学专业知识的载体。一套口腔医学专业的教材应该系统地、完整地包含口腔医学基本知识的总量，应该紧密对准培养目标所需要的知识框架和内涵去取舍和筛选。以严谨的词汇去阐述基本知识、基本概念、基本理论和基本规律。大学教材总是表达成熟的观点、多数学派和学者中公认的观点和主流派观点。也正因为是大学教材，适当反映有争议的观点、非主流派观点让大学生去思辩应该是有益的。口腔医学发展日新月异，知识的半衰期越来越短，教材在反映那些无可再更改的基本知识的同时，概括性介绍口腔医学的最新研究成果，也是必不可少的，使我们的大学生能够触摸到口腔医学科学前沿跳动的脉搏。创造性虽然不可能教出来的，但是把教材中深邃的理论表达得深入浅出，引人入胜，激发兴趣，给予思考的空间，尽管写起来很难，但这是可能的。这无疑有益于培养大学生的创造性思维能力。

本套教材共 15 本，是供 8 年制口腔医学专业的大学生用的。这 15 本教材为：口腔医学导论、口腔组织病理学、口腔解剖生理学、口腔生物学、口腔材料学、口腔临床药物学、口腔颌面医学影像诊断学、牙体牙髓病学、牙周病学、儿童口腔病学、口腔黏膜病学、口腔颌面外科学、口腔修复学、口腔正畸学、口腔预防医学。可以看出这 15 本教材既有口腔基础医学类的，也有临床口腔医学类的，还有介于两者的桥梁类性质的科目。这是一套完整的、系统的口腔医学专业知识体系。这不仅仅是新中国成立后第一套系统教材，也是 1943 年成立北大牙医学系以来的首次，还是实行 8 年制口腔医学年制的首部。为了把这套教材写好，编辑委员会遴选了各学科资深的教授作为主编和副主编，百余名有丰富的教学经验并正在教学第一线工作的教授和副教授参加了编写工作。他们是尝试着按照上述的要求编写的。但是首次难免存在不足之处，好在道路已经通畅，目标已经明确，只要我们不断修订和完善，这套教材一定能成为北京大学口腔医学院的传世之作！

张震康

2004 年 5 月

## 前　　言

口腔病理学是现代病理学发展过程中的一门分支学科。口腔组织学与病理学是口腔医学专业学生从普通医学过渡到口腔医学中的必修课程，是口腔疾病正确诊断和治疗的基础，它在口腔医学教育中占有重要的位置。本教材根据教育部对于“十五”期间高等教育教材建设的精神，面向 21 世纪，为适应长学制学生的素质教育和创新能力的培养，适应现代教育教学改革的要求，着眼培养新世纪的医学人才，体现本学科教学的最好水平，既适用于培养长学制的高层次专业人才，又适用于不同学制的人才培养。力求突破原有教材的编写框架，有利于培养学生的思维能力及创新意识。

本书共分为三篇，为了便于理解和应用，依次介绍了口腔胚胎学、口腔组织学、口腔病理学及附录口腔疾病的实验研究四大部分共 23 章。着重介绍口腔的胚胎发育、组织学特征；病理学重点介绍病理特点，适当联系疾病的病因与临床表现及其组织发生等内容。每章后附有本章的英文摘要，全书后附主要参考书目。本教材对国外教材中好的经验及最新进展都做了概括性的介绍。其中的线条图及绝大部分图片基本上采用我国自己的标本及资料。部分彩图集中放在全书最后，与黑白图统一随文排序。对专有名词以全国自然科学名词审定委员会审定、公布的医学名词为准进行了统一。本教材的内容较丰富、全面。除作为长学制教材外，也可以作为其他口腔医学专业人员参考之用。

本书的编写目标是使之成为一本高水平的教材，但编写之后仍感到还存在不足之处，恳请各位专家及同仁们批评、指正。本书的编写是在各位编委密切合作的基础上共同完成的，同时得到我院、室相关老师及同仁的大力支持与热情帮助，在此致以由衷的感谢。

于世凤 高 岩  
2004 年 4 月

# 目 录

## 第一篇 口腔胚胎学

<b>第一章 口腔颌面部发育</b> .....	(1)
<b>第一节 神经嵴、鳃弓和咽囊</b> .....	(1)
一、神经嵴的分化.....	(1)
二、鳃弓及咽囊的发育.....	(3)
<b>第二节 面部的发育</b> .....	(5)
一、面部发育过程.....	(5)
二、面部发育异常.....	(8)
<b>第三节 腭的发育</b> .....	(9)
一、腭部发育过程.....	(9)
二、腭发育的调控 .....	(11)
三、腭部发育异常 .....	(12)
<b>第四节 舌的发育</b> .....	(12)
一、舌的发育过程 .....	(12)
二、舌的发育异常 .....	(13)
<b>第五节 涎腺及口腔粘膜的发育</b> .....	(14)
一、涎腺的发育 .....	(14)
二、口腔粘膜的发育 .....	(16)
<b>第六节 颌骨和颞下颌关节的发育</b> .....	(17)
一、下颌骨的发育 .....	(17)
二、上颌骨及腭骨的发育 .....	(19)
三、颞下颌关节的发育 .....	(19)
四、颌骨发育的调控 .....	(20)
<b>第二章 牙及其支持组织的发育</b> .....	(23)
<b>第一节 牙的早期发育</b> .....	(23)
一、牙发育的蕾状期、帽状期和钟状期 .....	(24)
二、牙发育早期的临时性结构 .....	(27)
三、牙发育中上皮—间充质的相互作用 .....	(28)
四、牙发育的分子调控 .....	(29)
<b>第二节 齿质发生</b> .....	(32)
一、成釉细胞的生命周期 .....	(32)
二、发育中釉质的蛋白质 .....	(36)
三、釉质的矿化 .....	(37)
四、釉质形成缺陷 .....	(38)

<b>第三节 牙本质发生</b>	(39)
一、成牙本质细胞分化	(39)
二、牙本质基质沉积	(40)
三、牙本质的矿化	(41)
<b>第四节 牙髓的发育</b>	(42)
<b>第五节 牙根及牙支持组织的发育</b>	(43)
一、根部牙本质的形成	(43)
二、牙骨质发生	(46)
三、牙周韧带及牙槽骨的发育	(47)
<b>第六节 牙的萌出及替换</b>	(49)
一、牙萌出的分期	(49)
二、萌出机制	(52)
三、牙萌出的时间	(53)
四、乳牙脱落	(54)
五、乳牙萌出及脱落的异常	(55)

## 第二篇 口腔组织学

<b>第三章 髓质</b>	(59)
<b>第一节 髓质的理化特性</b>	(59)
一、物理特性	(59)
二、化学特性	(60)
<b>第二节 髓质的组织结构</b>	(62)
一、髓质的基本结构单位	(62)
二、无釉柱髓质	(64)
三、髓质牙本质界及其相关的结构	(64)
四、与髓质周期性沉积相关的结构	(66)
五、与釉柱排列方向相关的结构	(67)
六、表面髓质	(68)
<b>第三节 髓质结构的临床意义</b>	(68)
<b>第四章 牙本质</b>	(71)
<b>第一节 牙本质的理化特性</b>	(71)
一、物理特性	(71)
二、化学特性	(71)
<b>第二节 牙本质的基本组织结构</b>	(73)
一、牙本质小管	(73)
二、牙本质小管的内含物	(74)
三、管周牙本质	(75)
四、管间牙本质	(76)
<b>第三节 牙本质结构和成分的区域差别</b>	(76)
<b>第四节 牙本质的神经分布与感觉</b>	(81)

<b>第五节 临床意义</b>	.....	(82)
一、牙本质的渗透性	.....	(82)
二、牙本质对外界刺激的反应	.....	(82)
三、牙科材料与牙本质的粘附	.....	(83)
<b>第五章 牙髓</b>	.....	(84)
一、牙髓的结构成分	.....	(84)
二、牙髓的分区	.....	(90)
三、牙髓的增龄性变化及牙髓组织结构的临床意义	.....	(91)
<b>第六章 牙骨质</b>	.....	(93)
一、牙骨质的理化特性	.....	(93)
二、牙骨质的分类及结构	.....	(94)
三、牙骨质牙本质界	.....	(98)
四、釉质牙骨质界	.....	(98)
五、牙骨质的增龄变化和临床意义	.....	(99)
<b>第七章 牙周韧带</b>	.....	(101)
一、牙周韧带的纤维	.....	(101)
二、牙周韧带的基质	.....	(103)
三、牙周韧带的细胞	.....	(104)
四、牙周韧带的血管和神经	.....	(107)
五、牙周韧带的功能	.....	(108)
六、牙周韧带的增龄性变化及临床意义	.....	(109)
<b>第八章 牙槽骨</b>	.....	(112)
一、牙槽骨的大体形态	.....	(112)
二、牙槽骨的化学特性	.....	(112)
三、牙槽骨的组织结构	.....	(114)
四、临床意义	.....	(117)
<b>第九章 口腔粘膜</b>	.....	(119)
<b>    第一节 口腔粘膜的基本组织结构</b>	.....	(119)
一、上皮	.....	(119)
二、固有层	.....	(125)
三、粘膜下层	.....	(126)
<b>    第二节 口腔粘膜结构的区域性差别</b>	.....	(126)
一、咀嚼粘膜	.....	(127)
二、被覆粘膜	.....	(132)
三、特殊粘膜	.....	(133)
<b>    第三节 口腔粘膜的外周感觉神经分布</b>	.....	(136)
一、口腔粘膜的一般感觉感受器	.....	(136)
二、味觉和味觉感受器	.....	(137)
<b>    第四节 口腔粘膜的功能和增龄变化</b>	.....	(138)
一、口腔粘膜的功能	.....	(138)

二、口腔粘膜的增龄变化.....	(138)
<b>第十章 腮腺.....</b>	<b>(140)</b>
第一节 腮腺的一般结构.....	(140)
一、腮腺的基本分泌单位——腺泡.....	(140)
二、肌上皮细胞.....	(143)
三、导管系统.....	(144)
四、结缔组织.....	(146)
五、唾液的分泌方式.....	(146)
六、腮腺的神经分布.....	(146)
第二节 腮腺的分类及组织学特点.....	(147)
一、大腮腺.....	(147)
二、小腮腺.....	(149)
第三节 腮腺的功能、增龄性变化及临床意义.....	(149)
一、腮腺的功能.....	(149)
二、腮腺的增龄性变化.....	(150)
三、腮腺结构的临床意义.....	(150)
<b>第十一章 颞下颌关节.....</b>	<b>(152)</b>
一、颞下颌关节的关节面.....	(152)
二、关节盘.....	(153)
三、滑膜.....	(154)
四、关节囊.....	(154)
五、血管和神经.....	(155)
六、TMJ 的增龄变化 .....	(155)
六、TMJ 结构的临床意义 .....	(155)

### 第三篇 口腔病理学

<b>第十二章 口腔粘膜病.....</b>	<b>(157)</b>
第一节 口腔粘膜白色病变.....	(157)
一、口腔白斑.....	(157)
二、念珠菌病.....	(159)
三、白色水肿.....	(160)
四、白色海绵状斑痣.....	(161)
五、口腔粘膜下纤维化.....	(161)
六、腭尼古丁白角化症.....	(162)
第二节 口腔粘膜红色病变.....	(162)
一、口腔粘膜红斑 .....	(162)
二、慢性盘状红斑狼疮 .....	(163)
三、扁平苔藓 .....	(164)
四、粘膜良性淋巴组织增生病 .....	(165)
五、游走性舌炎 .....	(166)

六、遗传性出血性毛细血管扩张症	(167)
<b>第三节 口腔粘膜黑色病变</b>	(167)
一、口腔黑斑	(167)
二、色素痣	(167)
三、口腔黑棘皮病	(168)
四、口腔粘膜外源性色素沉着	(169)
五、色素沉着肠道息肉综合征	(169)
<b>第四节 口腔粘膜疱性病变</b>	(170)
一、天疱疮	(170)
二、良性粘膜类天疱疮	(171)
三、多形渗出性红斑	(172)
四、疱疹性口炎	(172)
五、三叉神经带状疱疹	(173)
六、其他疱性疾患	(173)
<b>第五节 口腔粘膜溃疡及坏死</b>	(174)
一、复发性阿弗他溃疡	(174)
二、复发性坏死性粘膜腺周围炎	(175)
三、白塞综合征	(176)
四、创伤性溃疡	(176)
五、放射性口炎	(177)
六、坏疽性口炎	(177)
七、结核性溃疡	(178)
<b>第六节 艾滋病的口腔表征</b>	(179)
一、口腔念珠菌病	(179)
二、口腔毛状白斑	(180)
三、HIV 牙龈炎	(180)
四、HIV 牙周炎	(180)
五、口腔卡波西肉瘤	(181)
六、非霍奇金淋巴瘤	(181)
<b>第十三章 口腔肉芽肿性疾患</b>	(182)
<b>第一节 口腔肉芽肿性疾患</b>	(182)
一、肉芽肿性唇炎	(182)
二、腺性唇炎	(182)
三、结节病	(183)
四、梅—罗综合征	(184)
五、嗜酸粒细胞增生性淋巴肉芽肿	(185)
六、浆细胞肉芽肿	(185)
七、韦格内肉芽肿	(185)
八、周缘性巨细胞肉芽肿	(186)
九、妊娠性肉芽肿	(187)

十、恶性肉芽肿	(187)
<b>第二节 其他病变</b>	(188)
一、舌乳头炎	(188)
二、舌淀粉样变性	(188)
三、变态反应性唇炎	(189)
四、囊虫病	(190)
五、放线菌病	(190)
六、梅毒	(191)
七、麻风病	(192)
八、克罗恩病	(192)
<b>第十四章 牙周组织病</b>	(194)
<b>第一节 牙龈病</b>	(195)
一、牙菌斑性牙龈病	(195)
二、非菌斑性牙龈病损	(198)
<b>第二节 牙周炎</b>	(201)
<b>第三节 发生在牙周组织的其他病理改变</b>	(211)
一、牙周变性	(211)
二、牙周创伤	(211)
三、牙周萎缩	(213)
<b>第十五章 牙体硬组织疾病</b>	(215)
<b>第一节 牙体硬组织非龋性疾病</b>	(215)
一、牙萌出和脱落异常	(215)
(一) 牙早萌	(215)
(二) 牙迟萌	(215)
(三) 牙萌出位置异常或萌出困难	(215)
(四) 乳牙滞留	(216)
(五) 牙的过早脱落	(216)
二、牙数目异常	(216)
(一) 额外牙或多生牙	(216)
(二) 缺额牙	(217)
三、牙形态异常	(217)
(一) 牙过大(巨牙)和牙过小(小牙)	(217)
(二) 牙弯曲或弯曲牙	(218)
(三) 融合牙、结合牙与双生牙	(218)
(四) 副牙尖	(219)
(五) 牙内陷	(220)
(六) 异位釉质	(220)
(七) 长冠牙(俗称牛牙样牙)	(221)
四、牙变色	(221)
五、牙结构的发育异常	(223)

(一) 齿质结构异常	(223)
(二) 牙本质结构异常	(227)
(三) 牙本质发育不良	(229)
六、牙骨质发育异常	(230)
七、牙发育完成后的结构缺损或非细菌性牙结构缺损	(230)
<b>第二节 龋 病</b>	(232)
一、龋病的病因学	(233)
二、龋病的发病机制学说	(235)
三、龋病的病理变化	(237)
<b>第三节 牙髓病</b>	(242)
一、牙髓炎	(243)
二、牙髓变性	(246)
三、牙髓坏死	(247)
<b>第四节 根尖周病</b>	(248)
一、急性根尖周炎	(249)
二、慢性根尖周炎	(249)
<b>第十六章 颌骨疾病</b>	(253)
<b>第一节 颌骨骨髓炎</b>	(253)
一、急性化脓性骨髓炎	(253)
二、慢性化脓性骨髓炎	(253)
三、慢性骨髓炎伴增生性骨膜炎	(254)
四、慢性局灶性硬化性骨髓炎	(254)
五、结核性骨髓炎	(254)
六、放射性骨髓炎	(255)
<b>第二节 代谢性颌骨疾病</b>	(256)
一、Paget病	(256)
二、甲状腺功能亢进	(256)
三、大块骨溶解症	(257)
<b>第三节 遗传性颌骨疾病</b>	(258)
一、巨颌症	(258)
二、骨硬化病	(259)
三、成骨不全症	(260)
四、婴儿骨皮质肥厚症	(260)
<b>第四节 非牙源性颌骨肿瘤及瘤样病变</b>	(260)
一、骨纤维异常增殖症	(260)
二、骨隆突和外生骨疣	(262)
三、骨瘤	(262)
四、骨样骨瘤	(262)
五、成骨细胞瘤	(263)
六、软骨瘤	(263)

七、巨细胞肉芽肿	(264)
八、巨细胞瘤	(266)
九、颌骨中心性血管瘤	(266)
十、朗格汉斯细胞组织细胞增生症	(267)
十一、骨肉瘤	(269)
十二、软骨肉瘤	(270)
十三、尤文肉瘤	(270)
十四、伯基特淋巴瘤	(271)
十五、浆细胞瘤	(272)
十六、颌骨转移性肿瘤	(272)
<b>第十七章 颌下颌关节病</b>	(274)
第一节 颌下颌关节炎症性病变	(274)
一、颞下颌关节紊乱病	(274)
二、变性性关节炎	(277)
三、类风湿性关节炎	(277)
四、银屑病性关节炎	(279)
五、莱特尔病性关节炎	(279)
六、感染性关节炎	(280)
七、创伤性关节炎	(280)
第二节 颌下颌关节肿瘤及瘤样病变	(280)
一、滑膜软骨瘤病	(280)
二、结节性滑膜炎	(281)
三、髁突过长	(282)
四、滑膜囊肿	(283)
五、腱鞘囊肿	(283)
六、髁突骨软骨瘤	(283)
七、颞下颌关节的少见肿瘤	(284)
<b>第十八章 涎腺疾病</b>	(285)
第一节 涎腺发育疾病	(285)
一、先天性涎腺缺失	(285)
二、涎腺导管异常	(285)
三、涎腺异位	(285)
四、涎腺融合	(286)
五、涎腺增生	(286)
六、多囊腮腺	(286)
第二节 涎腺炎症	(287)
一、急性涎腺炎	(287)
二、慢性涎腺炎	(287)
三、慢性硬化性颌下腺炎	(288)
四、小涎腺炎	(289)

五、流行性腮腺炎.....	(289)
六、涎腺包涵体病.....	(290)
七、涎腺肉芽肿性病变.....	(290)
八、眼色素层腮腺炎.....	(291)
九、涎结石病.....	(291)
十、过敏性涎腺炎.....	(292)
十一、放射性涎腺炎.....	(292)
<b>第三节 涎腺非炎症性疾病.....</b>	<b>(293)</b>
一、涎腺的增龄性变化.....	(293)
二、涎腺萎缩.....	(293)
三、嗜酸细胞增生症.....	(293)
四、涎腺症.....	(294)
五、舍格伦综合征.....	(295)
六、良性淋巴上皮病变.....	(297)
七、HIV 涎腺相关疾病 .....	(297)
八、坏死性涎腺化生.....	(298)
九、囊性纤维变性.....	(298)
<b>第四节 涎腺肿瘤.....</b>	<b>(299)</b>
一、涎腺上皮性肿瘤.....	(303)
<b>恶性肿瘤 .....</b>	<b>(303)</b>
(一) 腺泡细胞癌.....	(303)
(二) 粘液表皮样癌.....	(305)
(三) 腺样囊性癌 .....	(307)
(四) 多形性低度恶性腺癌.....	(310)
(五) 上皮-肌上皮癌 .....	(311)
(六) 透明细胞癌.....	(312)
(七) 基底细胞腺癌.....	(314)
(八) 皮脂腺癌和皮脂腺淋巴腺癌.....	(315)
(九) 乳头状囊腺癌 .....	(316)
(十) 粘液腺癌.....	(317)
(十一) 嗜酸细胞癌 .....	(317)
(十二) 涎腺导管癌.....	(318)
(十三) 腺癌 .....	(320)
(十四) 恶性肌上皮瘤 .....	(320)
(十五) 恶性多形性腺瘤 .....	(321)
(十六) 鳞状细胞癌.....	(323)
(十七) 未分化癌.....	(323)
(十八) 小细胞未分化癌.....	(324)
<b>良性肿瘤 .....</b>	<b>(325)</b>
(一) 多形性腺瘤.....	(325)

(二) 肌上皮瘤	(327)
(三) 基底细胞腺瘤	(329)
(四) Warthin 瘤	(330)
(五) 嗜酸细胞瘤	(332)
(六) 管状腺瘤	(333)
(七) 皮脂腺腺瘤及皮脂腺淋巴腺瘤	(334)
(八) 导管乳头状瘤	(334)
(九) 乳头状囊腺瘤	(336)
(十) 成涎腺细胞瘤	(337)
<b>二、涎腺非上皮性肿瘤</b>	(337)
(一) 婴幼儿血管瘤	(338)
(二) 脉管畸形	(338)
(三) 涎腺脂肪瘤	(338)
(四) 神经鞘瘤	(338)
(五) 恶性淋巴瘤	(339)
(六) 髓外浆细胞瘤	(339)
<b>三、继发性肿瘤</b>	(339)
<b>四、涎腺囊肿</b>	(340)
<b>第十九章 口腔颌面部囊肿</b>	(342)
<b>第一节 牙源性囊肿</b>	(343)
<b>一、发育性牙源性囊肿</b>	(343)
(一) 牙源性角化囊肿	(343)
(二) 含牙囊肿	(346)
(三) 婴儿龈囊肿	(347)
(四) 成人龈囊肿	(347)
(五) 发育性根侧囊肿	(347)
(六) 萌出囊肿	(348)
(七) 腺牙源性囊肿	(348)
<b>二、炎症性牙源性囊肿</b>	(349)
(一) 根尖囊肿	(349)
(二) 牙旁囊肿	(349)
<b>第二节 非牙源性囊肿</b>	(350)
<b>一、鼻腭管(切牙管)囊肿</b>	(350)
<b>二、鼻唇(鼻牙槽)囊肿</b>	(351)
<b>三、球状上颌囊肿</b>	(351)
<b>四、下颌正中囊肿</b>	(351)
<b>第三节 假性囊肿</b>	(351)
<b>一、动脉瘤性骨囊肿</b>	(351)
<b>二、单纯性(外伤性)骨囊肿</b>	(352)
<b>三、静止性骨囊肿</b>	(353)

<b>第四节 口腔、面颈部软组织囊肿</b>	(353)
一、皮样和表皮样囊肿	(353)
二、鳃裂囊肿	(353)
三、甲状舌管囊肿	(354)
四、畸胎样囊肿	(355)
五、粘液囊肿	(355)
六、舌下囊肿	(356)
<b>第二十章 牙源性肿瘤和瘤样病变</b>	(358)
第一节 上皮性牙源性肿瘤	(359)
一、成釉细胞瘤	(359)
二、牙源性鳞状细胞瘤	(363)
三、牙源性钙化上皮瘤	(364)
四、牙源性腺样瘤	(365)
第二节 混合性牙源性肿瘤	(366)
一、成釉细胞纤维瘤	(366)
二、成釉细胞纤维—牙本质瘤和成釉细胞纤维—牙瘤	(367)
三、牙源性钙化囊肿	(367)
四、牙瘤	(369)
第三节 间叶性牙源性肿瘤	(370)
一、牙源性纤维瘤	(370)
二、牙源性粘液瘤	(371)
三、良性成牙骨质细胞瘤	(372)
第四节 恶性牙源性肿瘤	(373)
一、牙源性癌	(373)
(一) 恶性成釉细胞瘤	(373)
(二) 原发性骨内癌	(373)
(三) 牙源性透明细胞癌	(374)
(四) 牙源性影细胞癌	(375)
(五) 牙源性囊肿恶变	(375)
二、牙源性肉瘤	(375)
(一) 成釉细胞纤维肉瘤	(375)
(二) 成釉细胞纤维—牙肉瘤	(376)
(三) 牙源性癌肉瘤	(376)
第五节 与骨相关的肿瘤和病损	(376)
一、牙骨质—骨化纤维瘤	(376)
二、牙骨质—骨异常增殖症	(377)
三、婴儿黑色素神经外胚瘤	(378)
<b>第二十一章 口腔粘膜癌</b>	(380)
第一节 口腔癌前病变	(380)
一、口腔粘膜红斑	(380)